

PR動画「げんばBEAT ver.L」 ～未来を拓く建設女子～公開中！

県・一般社団法人青森県建設業協会・建退共青森県支部が共同で制作した、建設女子の活躍をPRする動画「げんばBEAT ver.L～未来を拓く建設女子～」をYouTubeで公開しています。

土木現場監督見習い、建設コンサルタント、大工としてそれぞれ奮闘する女性3人の働きぶりや仕事のやりがい、魅力などを紹介しています。

建設女子たちの仕事に懸ける熱い思いをぜひご覧ください。



▶只今WEBにて動画公開中!!

げんばビート

検索

あおもり女性建設技術者ネットワーク会議



当会議は、建設業に従事する女性の働く環境の改善を目的に、県内の建設業で活躍している女性で構成する組織であり、平成27年10月23日に設立されました。現在の会員数は71名で、会員相互が交流・連携し、建設業で女性が活躍する姿の発信のほか、働く環境の改善に向けた意見を発信するなどの活動を行っています。建設業で女性が活躍することは、工事現場の環境や働き方に変化をもたらす、性別・年齢を問わず誰もが働きやすく、能力を発揮できる産業になることにつながることを期待されています。

坂井 房恵会長からの
メッセージ



男社会のイメージの強い建設業ですが、近年では女性を雇用している企業が少なくありません。今後、若い人たちが入職・定着するためには、建設業のイメージ改善や働き方の改革が必要だと考えます。そのためにも、女性建設技術者のパイオニアとして、建設業の輝く未来のために、建設業が誰もが働きやすい産業になるよう、会員一丸となって笑顔あふれる、夢のある事業を実施していきますので、是非、イベント活動に参加して一緒に交流を深めましょう。



あおもり女性建設技術者ネットワーク会議事務局
(青森県県土整備部監理課 建設業振興グループ内)
tel.017-734-9706/fax.017-734-8178
http://aomorikensetuko.com/71833/

お問い合わせ：青森県県土整備部監理課建設業振興グループ

〒030-8570 青森県青森市長島1-1-1 県庁北棟3階 tel.017-734-9706 / fax.017-734-8178 / mail:kensetsugyo@pref.aomori.lg.jp

青森県建設業ポータルサイト

青森県建設業

検索

http://pub.pref.aomori.lg.jp/kouji/

BUILD AOMORI

青森の未来をつくらう!



SEASON

4

2021

女性もできる 土木・建築

DOBOKU & KENCHIKU

道路工事や建築現場など、建設の現場で働く女性技術者「建設女子」。近年、注目されてきましたが、ほんの数年前までは、見かけることも稀でした。しかし今、建設が大好き！暮らしを支えるインフラの仕事に就きたい！という思いを realise、建設の世界に飛び込んできた女性たちがいます。青森生まれの、魅力的な「建設女子」たちを紹介します。



MANAMI KASASHIMA
01

青森の明るくアクティブな
「建設女子」たち！



子育てしながら現場監督
「達成感こそ醍醐味！」



存在感ある監督に

笠嶋 真奈美

MANAMI KASASHIMA #42 さん
株式会社 横町建材
工事部主任



DATA

岩手県洋野町出身。岩手県立大野高等学校普通科から八戸工業大学工学部土木工学科に進学。卒業後は八戸市内の建設コンサルタントなどを経て、2003年10月に株式会社横町建材に入社。1級土木施工管理技士、測量士、玉掛け、足場の組立等作業主任者技能、小型移動式クレーン運転技能、地山掘削及び土留め支保作業主任者技能など多くの資格を持つ。2児のママ。現場監督として活躍中。

株式会社 横町建材

業種 土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、舗装工事、解体工事

本社 八戸市吹上4丁目4-96
tel.0178-22-3400

階上営業所 三戸郡階上町大字山沢字長根3-5
tel.0178-88-3017 fax.0178-88-3026

URL <https://www.circuit-kiriyana.com/yokomachi-kenzai>



工事現場の第一線で活躍

道路や橋、下水道など、なくてはならない社会インフラを造りあげる土木工事。その工事現場で、作業全般を指揮し、工事を完成まで安全に導く重要な役目を担うのが現場監督であり、土木工事業の横町建材(本社・八戸市)で現場監督を務める笠嶋真奈美さんも、日々、工事現場の第一線で立ち活躍しています。

「施工計画」に沿って職人や作業員にその日の作業内容を指示したり、特に危険箇所の注意点を確認したりするのが笠嶋さんの主な仕事。工事を工期内に終わらせるため、伝達すべき項目の一つひとつに彼女なりの工夫を凝らします。「わかりやすく、簡潔に伝えることが最も大切なことです。その際、仕事を“指示する”というよりも、“お願いする”“やっただけ”という気持ちで相手に伝えるようにしています」。

自分が直接担当していない現場でも、その姿勢は変わりません。先輩監督が担当する道路舗装補修の現場でも、工区内を巡回しながら作業員に「気を付けてね」と声をかけ、コミュニケーションを図ります。時には、みずから測量機器と三脚を担いで現場の端に立ち、ロードローラーで押し固められた路面の仕上げり具合を検測。そして、ほかの現場監督とも連携しながら各工程の進捗具合を確かめて回ります。



安全確保は現場監督の最も重要な役目

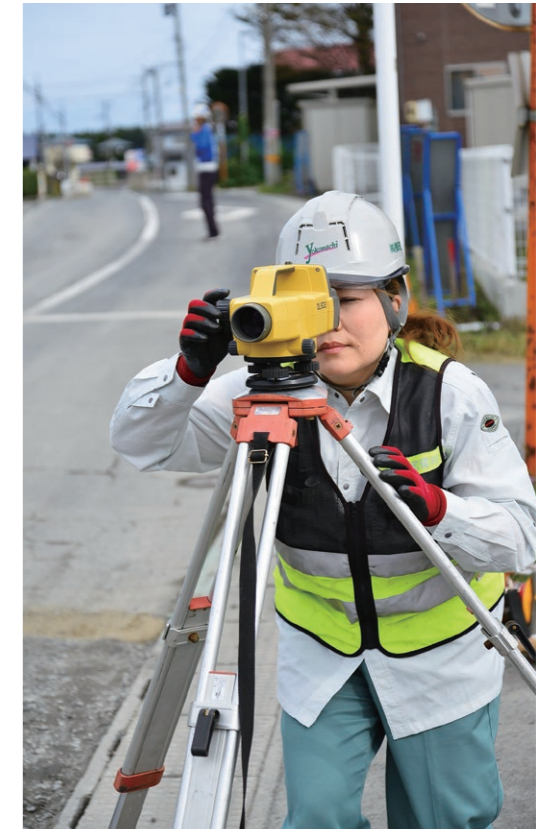
現場監督の仕事は諦めきれず

職人や作業員とのコミュニケーションを重要視するのは、「より良いものをつくりたい」という思いから。「たとえ受け持つ作業内容が違って、現場に関わる人は誰しも、その思いは同じです。そして完成したときの達成感を全員で味わうことこそ、ものづくりの醍醐味。その喜びは何にも代えがたく、それまでの苦勞が報われる気がします。そこには男も女もありません」。

笠嶋さんは、地元の高校在学中、洋服のデザイナーやスタイリストに憧れ、仙台にある服飾専門学校への進学を目指していました。しかし、水道工事を手掛ける会社に勤めていた父親の反対であえなく断念。両親の勧めで八戸工業大学に進学することになりました。橋梁の構造力学などの土木工学を学ぶうちに、ものづくりの面白さや重要性に目覚め、建設業への関心が高まりました。「父の影響で幼い頃から工事現場は身近なものでした。いま思うと、潜在的に建設関連の仕事に興味があったのかもしれない」。

大学3年から建設会社を目指して就職活動を始めますが、当時はほとんど相手にされませんでした。現場で働きたくても、女性だからという理由で面接すらしてもらえなかったのです。建設業界の女性に対する風当たりの強さを痛感しながらも、多くの企業を訪ね歩くうちに、八戸市内の建設コンサルタント会社への採用が決まります。

施工前の測量や設計を担う建設コンサルタント業務で建設業に携わることになった笠嶋さんですが、やはり「現場でものづくりがしたい」という思いに抗いきれず、2年ほどで退職してしまいます。女性の現場監督に憧れながら、フリーターとして生活する中、アルバイト先の居酒屋のオーナーが、たまたま知り合いだった横町建材の横町秋男社長に彼女を紹介。横町社長の計らいで横町建材への入社が決まり、夢である“現場監督”に一歩近づくことになりました。



測量機器を用いて路盤の仕上げり具合を検測する笠嶋さん

子どもに「すごいね」って言われたい

数年後、学生時代から親しかった男性と結婚し、2人の子どもに恵まれます。「出産の時は、産休や育児休暇をいただき本当に安心できました」と笠嶋さん。この点について横町社長は、「とにかく、本人に辞めてほしくなかった」と当時を振り返ります。そして、「今は産休・育児の取得はこの業界でも当たり前になってきています。パートの勤務もできますので、女性にはもっと応募してほしいと思っています」と女性の採用に意欲を見せます。

これから建設業を目指す女性に対して笠嶋さんは、「建設業はいまだに男性が多い職場ですが、女性だからこそできることもたくさんあり、活躍する機会が増えています。飛び込んで来てくれれば、私が全力でサポートします」と力強く語ります。その目には、建設女子の先駆者としての気概が溢れていました。

現場監督という重責を担うかたわら、2人の子育てにも奮闘する笠嶋さんの次の目標は、「この人に仕事を任せたいと指名されるような存在になること」。そして、「2人の子どもに『お母さん、すごいね』って言ってもらいたいですね」と口元がほころびました。幼いわが子を慈しむ母親の笑顔がそこにありました。



ほかの現場監督とも連携して各工程の進捗具合を見て回る

ひとことメッセージ

女性のチャレンジを歓迎します

株式会社 横町建材
代表取締役 横町 秋男

笠嶋さんは、当社でただひとりの女性技術者です。ものづくりという点では、女性男性関係なく、責任のある仕事ですので当然厳しい面もあり、入社当初はぜひぶん苦勞したと思います。その後は結婚して、2児の母となり、仕事と家庭を両立させながら男性陣に負けないうらい活躍してくれています。女性がいることで現場はおのずと和らぎますし、仕事も丁寧で仕上げなどの細かな作業には向いていると思います。当社はまだまだ女性の少ない職場ですが、技術者に限らず車両ドライバーや短時間勤務の作業員など、可能な限り柔軟に勤務体制を整えて、女性が働きやすく、そして活躍できる職場環境づくりに取り組んでおります。興味のある方はどんどんチャレンジしてみてください！



青森の明るくアクティブな
「建設女子」たち!



電気の女性現場監督誕生

「照明点く瞬間、楽しい!」



目標は電験三種!

石田 愛さん

AIISHITA #21
株式会社ミワ電気
工務部



DATA

青森県立五所川原工業高等学校(電気科)在学中、第二種電気工事士の資格を取得し、第一種電気工事士および2級電気工事施工管理技術検定(学科)に合格。卒業と同時に2018年3月入社。現在、第一種電気工事士資格取得と2級電気工事施工管理技術検定(実地)の受験をめざし、実務経験を積んでいる。目標は電験三種合格。鯉ヶ沢町出身。

株式会社ミワ電気

業種 電気工事
本社 五所川原市大字漆川字袖掛153-14
tel.0173-26-5607 fax.0173-26-5608
URL <http://www.miwadenko.jp/>



念願の電気工事業界「早く一人前になりたい」

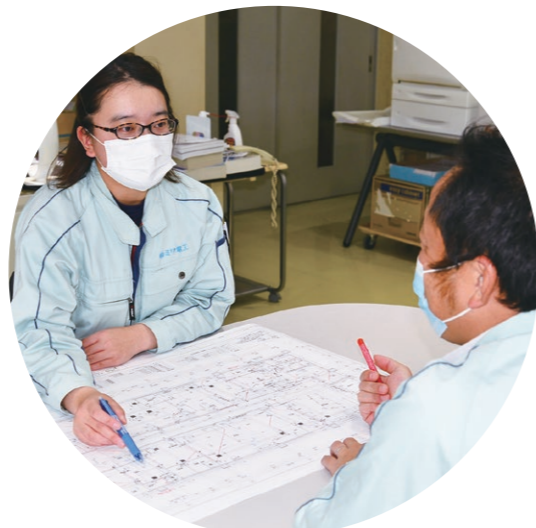
小学生の頃からあこがれていた電気工事業界に入り、全国でも数少ない女性の現場監督として日々奮闘しているのが、ミワ電気(本社・五所川原市)の石田愛さんです。入社3年目の若干21歳。

創業40年弱の同社ですが、女性の現場監督は彼女が初めて。18歳で入社後、数か月で現場監督の補助業務を任せられ、すでに複数の建築現場で業務をこなしています。

「電気のスイッチを入れて照明が点灯する瞬間が楽しい。知識や経験が人よりまだ浅いので、早く仕事を覚えて一人前になりたい」と、目を輝かせています。

鯉ヶ沢町で生まれ育ち、夢を追って青森県立五所川原工業高校電気科に進学。在学中は第二種電気工事士の資格を取得し、第一種電気工事士と2級電気工事施工管理技士の学科試験に合格するなど、挑戦できる国家資格の課題をすべてクリアして卒業しました。学科に合格済みの2資格の免状は、実務経験など一定の条件を満たしたあと彼女に交付されます。

優秀で勉強熱心な石田さん。「次は1級電気工事施工管理技士と第三種電気主任技術者(電験三種)の資格がほしい」と前を見据えています。



設計室で新築図面のコンセントの位置や配線経路について上司と打ち合わせする石田さん(左)

揺るぎない信念 新たな資格にも挑戦

石田さんが目指す電験三種は合格率1ケタ台の狭き門。突破できれば同社初の快挙です。電圧5万ボルト未満の電気工作物の工事や維持・運用に関する保安の監督へと仕事の幅が広がるだけでなく、電気の専門家として高い信頼を得ることができます。

子どもの頃は「パン屋さん」になりたかったという彼女を、何が電気工事業へと駆り立てたのか。きっかけは小学4年生の時。ある昼休み、学校の廊下で、設備のメンテナンスに来ていた電気工事士に目を奪われたのです。「作業服に腰袋(工具を入れる袋)を着けた姿がかっこいい」。そして「いつか私も」と心に決めました。

「電気工事士になりたい」。建設業と無縁だった両親は、彼女の意外な一言に驚きました。「生死にかかわる」とはじめはものすごく心配していましたが、小中高と信念を曲げない彼女の「本気度」が次第に伝わり、今では「仕事は残業してでもしっかりやれ」と応援してくれています。

ミワ電気は、五所川原市役所新庁舎やつがる警察署など、多くの設備工事を手掛けている電気工事会社です。入社直後は住宅のコンセントやスイッチの取り付け工事などを教わり、その後、施工管理の資格を活かすため、監督補助業務に取り組みことになりました。

業務範囲はCADによる図面作成や必要な器具の集計などさまざまですが、特に発注者や職人さんとのコミュニケーションが重要になる仕事。ここで駆け出しの彼女に立ちちはだかったのが「経験の壁」でした。

「教科書の知識と現場の知識はまったく別物でした。電気だけでなく建築の知識も必要だし“たとえ話”や“言い回し”を覚えないと説明に時間がかかる」。知らない用語はメモを取って監督に聞いたり自分で調べたり。なんとか乗り越えようと、毎日もがき続けています。



【写真左】キュービクル内の電線接続作業を確認する石田さん(左) 【写真右】天井を取り付ける前に、完成した電気設備の写真をスマートフォンで撮影する石田さん

ひとことメッセージ

ステップアップを応援

石田さんは、弊社初の女性現場監督です。入社してすぐに大型現場での作業を経験し、その後は彼女が学生時代に取得した施工管理の資格を活かすために、新築のつがる警察署で監督の補助業務を行い、CADを使った作図や、図面から必要な材料を集計する作業、現場での打ち合わせなど様々な業務を経験してきました。現在は、認定こども園の現場管理業務を担当してもらっています。

弊社では技術者の資格取得のための講習会などにも力を入れ、次のステップアップを目指す人の応援をしています。そして、これからは、多様化する働き方に柔軟に対応し、時代に合った働きやすい職場環境に向け取り組んでいます。



完成後は倉庫になる予定の部屋でVVFケーブル束を束ねる整線作業の様子を確認する石田さん(中央)



石田さんが初めてメインで現場監督を受けた認定こども園の新築現場

「真面目で努力家」「ミス少ない」評価上々

鯉ヶ沢町の自宅から50分かけて朝一番に出勤する石田さん。真面目で努力家な彼女を「頑張りすぎないか」と心配しながら見守るのは、営業部の島谷昌孝次長です。石田さんが高校生の時、インターンシップ生として同社を訪れたのが最初の出会いでした。積極的に質問する姿勢から、仕事への関心の高さや強い熱意を感じたそうです。

「この若さで監督補助をこなすのは男性でも異例だし、成長のスピードが他の人に比べて速い」と島谷次長。同僚の現場監督からも「彼女の図面は正確でミスが少ない」と評価は上々です。

この日取材で同行したのは、彼女が初めてメインで現場監督を受け持ったという「認定こども園」の新築現場。倉庫になる予定の部屋に入った石田さんは、図面を見ながらコンセントとスイッチの場所が合っているか、配線が器具に正しくつながっているかなどについて、手際よく確認していきます。

実は、夢だった電気工事士ではなく現場監督をしているのには資格を活かすのもう一つ、別な理由がありました。「例えば照明器具を天井に取り付ける際、持ち上げたままの体勢をキープすることが大変で、自分には向いていないと思いました」ときっぱり。甘くない現実もしっかり受け止め「現場監督だって電気工事の大事な仕事」と前を向きまします。「楽しいことばかりではないけど、自分で選んだ仕事なので楽しい。もっと現場の知識を身に付けて、この先もずっと続けていきたい」。若き現場監督の挑戦は、まだ始まったばかりです。

株式会社 ミワ電気

取締役営業部次長 島谷 昌孝



青森の明るくアクティブな
「建設女子」たち!



先輩の背中を追いかけて 信頼され愛される営業になるのが夢!



人と話すことが楽しい!

我満 美優 さん

MIYUU GAMAN #23
青森ニチレキ 株式会社
営業部 営業課



DATA

階上町出身。八戸工業大学工学部生命環境科学科卒業後、2019年4月にニチレキ株式会社へ入社。同年5月に青森ニチレキ株式会社へ配属となる。八戸工業高等学校在学中に危険物取扱者乙種第4類、3級技能検定金属熱処理(一般熱処理作業)の資格を取得。現在は2級土木施工管理技士の資格取得のため勉強中。

青森ニチレキ 株式会社

業種 土木一式工事、舗装工事

本社 十和田市三本木字野崎40-75
tel.0176-22-1931 fax.0176-22-1608

URL <https://www.nichireki.co.jp>



人と話すことが好きで営業の道へ

建設業では珍しい女性の営業職として活躍する青森ニチレキ(本社十和田市)の我満美優さん。2年前までは八戸工業大学で生命環境科学を学んでいましたが、就職先には畑違いの建設業、それも営業職を選びました。大学で学んだことを生かすため、一時は食品メーカーなども検討しましたが、「営業職が希望でしたので、就職懇談会でお会いした営業の方のお話をうかがい、試験を受けてみようと思いました」。そしてその後、舗装材大手のニチレキ株式会社(東京都・千代田区)に応募し、見事採用。子会社である青森ニチレキに出向する形で入社しました。

それまであまり縁のなかった建設業で働くことになったきっかけは大学時代のアルバイト経験。「もともと人と話すことは得意ではありませんでしたが、接客業のアルバイトをしたことで、人と話すことが楽しいと思えるようになりました」。そして、人とたくさん話すことができ、人と関わる営業職が「自分に向いているのでは」と思いました。営業職を希望したことにより我満さんと建設業の関わりが生まれたのです。



入社2年目で取引先との電話も板についてきました

未経験でも会社が全力サポート

親会社のニチレキは、アスファルト舗装などに用いる舗装材のトップメーカー。その子会社である青森ニチレキは、ニチレキの製品を販売するほか、舗装工事の施工も手掛けています。営業担当者は発注者や現場担当者との打ち合わせも行うため、幅広い知識が求められます。入社後は、会社の全面的なバックアップを受けて先輩社員の営業先への同行や、ロールプレイング(社員研修の一つ)など、舗装業界の仕組みや営業のノウハウを学ぶ日々が続きました。「自社製品を覚えるにも聞いたことがない単語が多く、それを調べることから始めました」と苦勞の一端を振り返ります。そんな時に心強かったのが、女性営業職の先輩で、顧客からの信頼も厚い浜村瞳さんの存在です。

浜村さんは入社4年目ですが、前職となる県外の自治体職員時代に道路の舗装補修を担当していたこともあり、土木・舗装分野の知識や経験が豊富です。そのため、我満さんのように未経験のまま建設業の営業を行うことの難しさも理解しています。「最初のうちは、彼女は私よりももっと大変だったと思います」と我満さんの苦勞を思いやる浜村さん。對馬英幸社長も「建設業で女性の営業は珍しいと思いますが、先輩がいる分心強いのではないのでしょうか」と、浜村さんの存在に感謝しています。



對馬社長(中)と先輩社員の浜村さん(右下)。営業職の2人には会社の充実したバックアップ体制が心強い



担当エリアへの営業は車で移動。常に安全運転を心がけています



いつも持ち歩いている製品の模型やタブレットなどの営業ツール

広く深い土木の世界を楽しく学ぶ

我満さんの営業担当エリアは三戸郡全域。官庁営業のほか、福祉施設や運送会社などの民間企業への飛び込み営業もこなします。入社2年目からは役所も回るようになり、担当者からの要望に応えるため、自社製品の勉強にも余念がありません。

苦勞も多い営業職ですが、その分喜びも大きいと語る我満さん。「民間企業を回ると入り口で帰されることも多いので、それ自体は確かに辛いことではあります。でも、訪問を続けていくうちに、そのお客様が話を聞いてくれるようになり、実際に製品を使ってみたくてと言われた時に、一番の喜びを感じます」と笑顔を見せます。時には現場に足を運び、ヘルメットにつなぎ姿の女性社員2人で行った現場では、取引先の方から「頑張ってるね」と声をかけてもらい、お昼ご飯をご馳走になったことも。

今後の目標は、「何よりも訪問先で愛される営業になりたいです」と瞳を輝かせます。これから建設業をめざす学生や女性に対しては、「実際に働いてみると、それまで思っていた土木のイメージと違い、すごく広く深い世界で、それを知っていくのがとても楽しいです。これまで土木に触れてこなかった人でも大丈夫ですよ」と実感のこもったメッセージ。奥深い土木の世界を学びながら、尊敬する先輩社員の背中を追いかける我満さん自身が、後に続く女性営業職のロールモデルとなる日もそう遠くなさそうです。



さらなる成長を期待

建設業は世の中になくはならないもので、インフラメンテナンスを通して社会貢献していく必要があります。少子高齢化で男性職員が減る中、女性の力を借りていかなければならない業界になってきていますので、弊社としてもハード・ソフト両面から環境整備を進めているところです。我満さんはこの1年で本当に成長しました。本人はおとなしい性格ということもあり、入社1年目は不安もありましたが、先輩社員との営業活動やさまざまな状況想定したロールプレイングを重ねるなどして頑張った結果、徐々に仕事もとれるようになり、自信もついてきたようです。将来的には『ニチレキに我満あり』と言ってもらえるように頑張っていきたいですね。

青森ニチレキ 株式会社

代表取締役 對馬 英幸



建設女子の一日

仕事の顔
&
休日の顔

事務所や現場で、元気に働く建設女子。
彼女たちは、どんな1日を過ごしているのか、
たずねました！

株式会社横町建材
笠嶋 真奈美さん



6:00 朝食
7:30 出社

8:00 ラジオ体操・朝礼
8:00 現場の巡回

10:00 休憩
10:00 休憩

13:00 午後の作業の打ち合わせ
13:00 ランチタイム

15:00 会社へ
15:00 休憩

17:20 帰宅
17:20 会社へ

19:00 夕食
19:00 夕食

20:00 寝かしつけ
20:00 寝かしつけ

23:30 就寝
23:30 就寝

5:00 5:30 起床、天気予報チェック
7:10 保育園へ

8:30 現場の巡回
8:30 現場の巡回

10:00 休憩
10:00 休憩

12:00 ランチタイム
12:00 ランチタイム

13:00 午後作業の打ち合わせ
13:00 午後作業の打ち合わせ

15:00 会社へ
15:00 会社へ

16:40 作業終了・片付け
16:40 作業終了・片付け

18:10 保育園お迎え
18:10 保育園お迎え

18:15 お風呂
18:15 お風呂

19:30 洗濯・掃除・保育園の準備など
19:30 洗濯・掃除・保育園の準備など

21:30 洗濯・掃除などの続き
21:30 洗濯・掃除などの続き

24:00 24:00 就寝
24:00 就寝

★休日の過ごし方
子ども達が喜ぶようなところに県内外問わず出掛けることが多いです。夏休みを利用して建機フェアに参加するため埼玉県秩父まで足を延ばしたことも。近場では、多くの滝に行ったり、ケーキ作りを体験したりしました。

株式会社ミワ電工
石田 愛さん



6:00 起床
6:00 起床

7:50 朝礼
7:50 朝礼

8:20 図面の作成
8:20 図面の作成

10:00 休憩と掃除
10:00 休憩と掃除

12:00 昼食
12:00 昼食

13:00 打ち合わせor現場の勉強
13:00 打ち合わせor現場の勉強

14:30 図面の確認・修正
14:30 図面の確認・修正

15:00 帰宅
15:00 帰宅

18:00 散歩
18:00 散歩

22:50 就寝
22:50 就寝

7:00 7:00 起床
7:00 起床

8:00 8:00 業務開始
8:00 業務開始

9:00 9:00 営業先へ出発
9:00 営業先へ出発

11:00 現場調査
11:00 現場調査

12:00 12:00 ランチタイム
12:00 ランチタイム

13:00 13:00 民間取引業者へ訪問
13:00 民間取引業者へ訪問

16:00 16:00 帰社
16:00 帰社

18:00 18:00 帰宅・夕食
18:00 帰宅・夕食

22:00 22:00 勉強、趣味の時間
22:00 勉強、趣味の時間

24:00 24:00 就寝
24:00 就寝

★休日の過ごし方
基本的には家で仕事の疲れを癒します。あとは、ジャンル問わずゲームをしています。正直、時間がまったく足りないというのが本音です(笑)。

青森ニチレキ株式会社
我満 美優さん



7:00 起床
7:00 起床

7:45 7:45 出社
7:45 出社

8:00 8:00 業務開始
8:00 業務開始

9:00 9:00 営業先へ出発
9:00 営業先へ出発

11:00 現場調査
11:00 現場調査

13:00 13:00 民間取引業者へ訪問
13:00 民間取引業者へ訪問

16:00 16:00 帰社
16:00 帰社

18:00 18:00 帰宅・夕食
18:00 帰宅・夕食

22:00 22:00 勉強、趣味の時間
22:00 勉強、趣味の時間

24:00 24:00 就寝
24:00 就寝

7:00 7:00 起床
7:00 起床

8:00 8:00 業務開始
8:00 業務開始

9:00 9:00 営業先へ出発
9:00 営業先へ出発

11:00 現場調査
11:00 現場調査

12:00 12:00 ランチタイム
12:00 ランチタイム

13:00 13:00 民間取引業者へ訪問
13:00 民間取引業者へ訪問

14:00 14:00 デモ施工
14:00 デモ施工

16:00 16:00 帰社
16:00 帰社

18:00 18:00 帰宅・夕食
18:00 帰宅・夕食

22:00 22:00 勉強、趣味の時間
22:00 勉強、趣味の時間

24:00 24:00 就寝
24:00 就寝

★休日の過ごし方
登山が趣味。登山は社会人になってから始め、今では十和田山岳会に所属しています。温泉、カフェめぐりも好きです。

私たちの7つ道具！

パワフルに働く建設女子たちの、
仕事に必要不可欠な「7つ道具」を紹介します！



- 株式会社横町建材
笠嶋 真奈美さん
- デジタルレベル (電子レベル)
 - トータルステーション
 - 腰袋
 - 巻尺
 - 検測道具
 - 耐水レベルブック
 - スマートフォン



- 株式会社ミワ電工
石田 愛さん
- 室内専用安全靴
 - ヘルメット
 - 筆記用具
 - メモ
 - 眼鏡ケース
 - 三角スケール
 - 図面



- 青森ニチレキ株式会社
我満 美優さん
- クラックスケール
 - 電卓
 - 名刺入れ
 - リップクリーム
 - スケジュール帳
 - マスク
 - iPad

建設
女子

ただいま
活躍中!



あなたも参加しませんか!

